

公立大学法人青森公立大学の第2期中期目標期間（終了時見込）評価の実施方法について

法人による自己評価
〔業務実績報告書〕

1. 小項目別評価

○中期目標に定めた最小項目（小項目）ごとに、当該中期目標期間における中期計画の業務の実績を記載するとともに、中期目標の達成状況を4段階により自己評価し、評価理由を明らかにする。

- A：中期目標を上回って達成している。
B：中期目標を十分に達成している。
C：中期目標を十分には達成していない。
D：中期目標を達成していない。

2. 大項目別評価

○小項目別評価の結果及び特記事項の内容を踏まえ、次の項目（大項目）ごとに、記述式により自己評価する。

- ①教育研究等の質の向上（教育）
- ②教育研究等の質の向上（研究）
- ③教育研究等の質の向上（地域貢献）
- ④業務運営の改善及び効率化
- ⑤財務内容の改善
- ⑥自己点検・評価、情報提供
- ⑦その他業務運営

3. 全体評価

○大項目別評価の結果を踏まえ、業務実績の全体について、記述式により総合的な自己評価を行う。

評価委員会による評価
〔業務実績評価書〕

1. 調査・分析

○法人から提出された業務実績報告書等を基に、中期目標の達成状況について調査・分析を行う。

2. 大項目別評価

○調査・分析の結果を踏まえ、大項目ごとに、中期目標の達成状況及び特記事項の内容を総合的に勘案して、5段階により評価する。

- 5：特筆すべき状況にある。
4：達成している。
3：おおむね達成している。
2：やや不十分な状況にある。
1：著しく不十分であり、重大な改善事項がある。

※教育研究については、その特性に配慮し、事業の外形的な評価を行う。

3. 全体評価

○項目別評価の結果を踏まえ、業務実績の全体について、記述式により総合的な評価を行う。

※評価意見の報告について

評価意見の報告にあたっては、「資料2-3② 委員評価点数及び評価理由等報告書様式（第2期中期目標期間（終了時見込）業務実績評価）」に記載の上、企画調整課までメール又はFAXで提出。（第1回会議後、委員へ様式をメールで送付）